

1. 平成 30 年度にぎわい交流館運営計画について

(1) 概要

事業計画の策定にあたり、日進の市民活動についての将来像（ビジョン）や、その実現に必要な3つの長期成果を設定して指針としました(平成29年度から継続)。

また、事業実施にあたっては、より団体のノウハウを生かしたりニーズに応えたりするため、できる限り団体が企画運営に参画できるよう工夫します。これにより、団体とにぎわい交流館がともに成長していく関係をつくっていきます。

なお、指定管理受託時の提案内容は、平成26～29年度の4年間におおむね実現できていますが、地縁型組織への支援体制（講座実施、相談対応やコーディネートができる関係づくり）が不十分であると認識しています。平成30年度の運営にあたってはその点にも留意した計画とします。

長期成果				ビジョン
(A) 地域課題と解決策の可視化、対話による共有がなされ、NPOが担う公共サービスの領域が増えている 【目標値】 行政と NPO の協働事業件数^{※1}				市民・行政・NPO が効果的に連携 しながら、地域課 題の解決に取り 組んでいる
H25 実績	H28 実績	H30 目標	H32 目標	
78	75	90	98	
(B) NPO が社会や自組織の変化に対応して成果を出し続けている 【目標値】 にぎわい交流館登録団体数				
H25 実績	H30.3 実績 ^{※2}	H30 目標	H32 目標	
252	271	320	350	
(C) 市民が地域の当事者として、市民活動の受け手や担い手となるための機会が充実している 【目標値】 ボランティア・NPO 活動経験のある市民の割合^{※3}				
H26 実績	H28 実績	H30 目標	H32 目標	
13.9 %	14.4 %	16 %	20 %	

※1 H32年度の目標は第5次日進市総合計画より

※2 施設を利用しなくなった、活動を終えたなどの理由で、登録を更新しなかった団体が多かったことによる

※3 市民意識調査（2年ごと実施）の結果。H32年度の目標は第5次日進市総合計画より

(2) 基本業務

業務内容	備考	受託・自主 の区分
会議室等の貸出・施設管理		受託事業
ワンデイシェフ	夏にランチフェア実施	〃
マーケット		〃
小さなギャラリー ランチコンサート		〃
相談事業		〃
ウェブサイト メールマガジン		〃
チラシ配架・掲示板 イベントカレンダー		〃
キャラクターを利用した PR		自主事業
Facebook ページ運用		〃
利用者アンケート		受託事業
団体登録		〃
図書・資料の収集・配架		〃
事業説明会	5月12日実施。H28年度から継続	自主事業
にぎわい夢まつり	9月16日実施	〃
にぎわい交流館まつり	11月18日実施	受託事業
休日の喫茶提供		自主事業

その他の事業……くるりんばす定期券販売、わいわいフェスティバル運営補助
 会議への参画……子どもの支援を考える会、にしん観光まちづくり協会

(3) 重点事業

【長期成果 A に対応するもの】

「地域課題と解決策の可視化、対話による共有がなされ、NPO が担う公共サービスの領域が増えている」

	事業名	実施回数等	受託・自主 の区分	新規・継続 ・見直し
1	団体交流会	1 回程度	受託事業	継続
	活動発表、課題意識やノウハウの共有、新たな連携を生むための場。テーマを決めて団体交流会を行う。			
2	出会おう！協働！講座	2 回程度	受託事業	新規
	市の職員を講師に、日進市の地域課題や取り組みについて知って考えるとともに、市職員と団体が顔を合わせる場を設ける。テーマ型団体・地縁型団体ともに参加しやすい内容を検討する。			
3	日進まちづくりゼミ (市民活動・協働推進勉強会)	4 回程度	自主事業	継続
	地域課題の解決に関わる人たちが、まちづくりについて共に行動していくための、出会いと学びと対話の場。話題提供者は参加者からの提案をもとに決める。			

【長期成果 B に対応するもの】

「NPO が社会や自組織の変化に対応して成果を出し続けている」

	事業名	実施回数等	受託・自主 の区分	新規・継続 ・見直し
4	団体向け講座（広報）	1 回（下期）	受託事業	見直し
	団体の広報スキルを向上するための講座・ワークショップを行う。 ※団体向け講座は、年ごとにテーマを変えて行う。			
5	専門家による相談事業	通年	受託事業	新規
	会計・ファンドレイジング・ミッション策定など専門的な相談に対応する。オンデマンド相談（にぎわいスタッフが論点整理したうえで日程調整）を実施。			
6	事務支援事業	通年	自主事業	継続
	事務に関する支援サービス（データ印刷、消耗品販売、事務代行など）を行う。			

	事業名	実施回数等	受託・自主 の区分	新規・継続 ・見直し
7	プロアクションカフェ	3回程度 (第1回 5月19日)	自主事業	新規
	活動を前進させたい人とそれをサポートしたい人が、相互に影響しあって、次の行動を見つける対話型のワークショップ。			

【長期成果Cに対応するもの】

「市民が地域の当事者として、市民活動の受け手や担い手となるための機会が充実している」

	事業名	実施回数等	受託・自主 の区分	新規・継続 ・見直し
8	にぎわいNEWS	年2回(5月・11月)	受託事業	継続
	広報にしん記事制作	年2回(8月・2月)		
	市民活動・ボランティアに関心を持ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、市民向けの情報紙や記事を制作する。			
9	市民自治活動奨励事業 認定制度の充実	通年	受託事業	継続
	例として認定事業のチラシを他の公共施設などに配送し、配架してもらうシステムを作るなど、制度の充実に引き続き取り組む。			
10	おしゃべりワークショップ わいわい広場	1回(下期)	自主事業	継続
	生活で気になることやまちの課題や魅力について「対話」することで、互いの価値観・考えやまちの課題を知り、できること・やりたいことに気づく場。ファシリテーターとして、市民活動している人などが参画する。			
11	日進わかもの塾	7月29日～8月26日 (説明会 6月16日)	自主事業	継続
	高校生が地域の身近な課題について考え、解決のためのプロジェクトを提案するプログラム。期間中に日進市内のNPOを訪問する。サポーターとして大学生の参加を募る。			